



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年7月28日

上場会社名 インフォコム株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4348 URL http://www.infocom.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹原 教博
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長 (氏名) 田中 新也 TEL 03-6866-3160
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有 2018年3月期第1四半期決算補足説明資料
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	9,949	11.7	651	302.4	677	305.8	430	678.2
29年3月期第1四半期	8,906	2.5	161	5.1	166	△3.7	55	△35.8

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 350百万円 (—%) 29年3月期第1四半期 △99百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	15.73	15.67
29年3月期第1四半期	2.02	2.01

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	31,542	23,641	74.5
29年3月期	32,620	23,665	72.2

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 23,498百万円 29年3月期 23,556百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	10.00	—	15.00	25.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期 (予想)	—	10.00	—	25.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	20,500	6.0	1,900	18.0	1,900	17.0	1,900	81.4	69.49
通期	46,000	10.1	5,300	11.0	5,300	9.2	4,000	22.7	146.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	28,800,000株	29年3月期	28,800,000株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	1,455,000株	29年3月期	1,457,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	27,344,250株	29年3月期1Q	27,340,000株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

当四半期決算補足説明資料は、TDNetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、不安定な海外情勢の懸念があったものの、企業収益や所得環境の改善等により緩やかな回復基調で推移しました。

IT関連市場では、「働き方改革」の実現に向けたIT活用意識の高まり等を背景に、スマートフォンやタブレット等のモバイル端末によるクラウドサービスの利用とともに、IoT、ビッグデータ、AI(人工知能)、VR(仮想現実)、AR(拡張現実)等の活用が進展し、医療や介護の領域へのIT活用や電子書籍市場の成長が続いています。更には、企業内外の技術やアイデアを組み合わせる新たな価値を創造するオープンイノベーションの取り組みが拡大する等、新事業の創出が期待されています。

このような経営環境において、当社グループは中期経営計画(2017年4月～2020年3月)の基本方針である「成長の追求」と「成長を支える経営基盤の継続的強化」の下、中長期にわたる継続的な発展を目的に、電子コミックとヘルスケアを重点事業として、M&Aの積極的推進に加え、AIやIoTを活用したビジネス展開等に取り組んでいます。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高9,949百万円(前年同四半期比11.7%増)、営業利益651百万円(前年同四半期比302.4%増)、経常利益677百万円(前年同四半期比305.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益430百万円(前年同四半期比678.2%増)となりました。

なお、当社グループの業績は、企業や病院向けの製品・サービスの納期が年度末の3月に集中する傾向があるため、売上高、利益ともに第1・第3四半期が相対的に少なくなり第4四半期に集中する傾向を有しています。

セグメント別の業績は次のとおりです。

① ITサービス・セグメント

当第1四半期連結累計期間のITサービス・セグメントは、ヘルスケア事業及び他のITサービスも好調に推移したため、データセンター関連ビジネスの撤退等の減収を吸収し、売上高は4,707百万円(前年同四半期比8.7%増)、営業損失143百万円(前年同四半期は営業損失336百万円)となりました。

ヘルスケア事業は、既存の病院・製薬企業向けの製品・サービスの販売促進に加え、地域包括ケア領域における新たな展開を視野に「デジタルヘルスコネクト」のシニア向けビジネスコンテストを開催しました。同事業では通期売上高目標の90億円を達成するため、病院・製薬企業向けのラインナップ拡充に加え、地域包括ケア領域における「介護丸ごとIT!」の取り組みやAI、IoTを使った新規ヘルスケアサービスの開発等に係る先行投資を強化しています。

企業向けのITサービスでは、「働き方改革」第1弾として統合業務ソフトウェアパッケージ「GRANDIT®」に連携する経費精算クラウドサービスの提供を開始しました。

また、遠隔医療や介護分野等への応用を目的に研究を進めているVR/ARの研究成果を展示会で発表しました。

② ネットビジネス・セグメント

当第1四半期連結累計期間のネットビジネス・セグメントは、電子コミック配信サービスが順調に推移し、売上高5,242百万円(前年同四半期比14.6%増)、営業利益793百万円(前年同四半期比59.0%増)となりました。

電子コミック配信サービスでは、「めちャコミック」のサイト運営にAIを活用した他、認知度維持向上を目的に全国主要都市圏でのテレビコマーシャルを前期に引き続き同時期に実施する等販売戦略を進めた結果、売上高は過去最高を更新しました。同サービスでは今後も通期売上高目標の210億円を達成するため、サービス内容の充実に努めます。

（2）財政状態に関する説明

①連結財政状態

総資産は、売上債権の減少等により、前連結会計年度末と比較して1,077百万円減少し、31,542百万円となりました。負債は、賞与引当金及び未払法人税等の減少等により、前連結会計年度末と比較して1,053百万円減少し、7,901百万円となりました。また、純資産は、前連結会計年度末と比較して24百万円減少し、23,641百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の72.2%から74.5%に上昇しました。

②連結キャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は13,395百万円となり、前連結会計年度末より987百万円増加しました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの主たる増減要因は以下のとおりです。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動によって得られた資金は1,739百万円（前年同四半期は757百万円）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益637百万円（前年同四半期は税金等調整前四半期純損失117百万円）及び売上債権の減少2,471百万円（前年同四半期は2,610百万円）等により増加し、引当金の減少745百万円（前年同四半期は638百万円）、データセンター関連の事業構造改革に伴う事業再編による支出293百万円（前期は300百万円）及び法人税等の支払999百万円（前年同四半期は1,141百万円）等により減少したものです。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動に使用した資金は325百万円（前年同四半期は329百万円）となりました。これは主にソフトウェア等無形固定資産の取得による支出167百万円（前年同四半期は177百万円）及び投資有価証券の取得による支出106百万円（前年同四半期は135百万円）によるものです。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動に使用した資金は423百万円（前年同四半期は619百万円）となりました。これは主に配当金の支払410百万円（前年同四半期は601百万円）によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期第1四半期の連結業績は予定どおりに推移していますので、平成29年4月27日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくため、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,403	13,391
受取手形及び売掛金	8,784	6,313
たな卸資産	366	549
その他	2,180	2,514
貸倒引当金	△4	△0
流動資産合計	23,731	22,768
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,413	1,406
その他(純額)	1,161	1,114
有形固定資産合計	2,575	2,521
無形固定資産		
ソフトウェア	2,045	1,997
のれん	8	5
その他	45	44
無形固定資産合計	2,099	2,047
投資その他の資産		
投資その他の資産	4,305	4,295
貸倒引当金	△34	△34
投資損失引当金	△55	△55
投資その他の資産合計	4,214	4,204
固定資産合計	8,889	8,774
資産合計	32,620	31,542
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,062	2,858
未払法人税等	908	225
賞与引当金	1,176	451
事業再編損失引当金	423	85
その他の引当金	18	1
その他	3,046	3,986
流動負債合計	8,636	7,609
固定負債		
その他	318	292
固定負債合計	318	292
負債合計	8,954	7,901
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,590	1,590
資本剰余金	1,448	1,448
利益剰余金	21,132	21,152
自己株式	△819	△817
株主資本合計	23,351	23,373
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	198	166
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	5	△41
その他の包括利益累計額合計	204	124
新株予約権	98	131
非支配株主持分	11	11
純資産合計	23,665	23,641
負債純資産合計	32,620	31,542

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	8,906	9,949
売上原価	4,979	5,389
売上総利益	3,926	4,560
販売費及び一般管理費	3,764	3,908
営業利益	161	651
営業外収益		
受取利息及び配当金	18	21
持分法による投資利益	2	4
パートナーシップ利益	0	0
その他	1	0
営業外収益合計	22	26
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	17	0
その他	0	0
営業外費用合計	17	0
経常利益	166	677
特別利益		
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
投資有価証券評価損	—	39
子会社株式売却損	273	—
その他	10	0
特別損失合計	284	40
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△117	637
法人税等	△171	207
四半期純利益	53	430
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	55	430

（四半期連結包括利益計算書）
 （第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日）
四半期純利益	53	430
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△68	△32
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	△85	△47
その他の包括利益合計	△153	△79
四半期包括利益	△99	350
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△97	350
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△117	637
減価償却費	253	289
株式報酬費用	27	34
のれん償却額	3	2
引当金の増減額(△は減少)	△638	△745
受取利息及び受取配当金	△18	△21
支払利息	0	0
売上債権の増減額(△は増加)	2,610	2,471
たな卸資産の増減額(△は増加)	△309	△183
仕入債務の増減額(△は減少)	△546	△214
その他	919	742
小計	2,184	3,013
利息及び配当金の受取額	15	19
利息の支払額	△0	△0
事業再編による支出	△300	△293
法人税等の支払額	△1,141	△999
営業活動によるキャッシュ・フロー	757	1,739
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△19	△52
無形固定資産の取得による支出	△177	△167
投資有価証券の取得による支出	△135	△106
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	4	—
差入保証金の差入による支出	△3	△0
その他	1	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△329	△325
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△18	△14
配当金の支払額	△601	△410
非支配株主からの払込みによる収入	1	1
その他	—	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△619	△423
現金及び現金同等物に係る換算差額	△19	△3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△210	987
現金及び現金同等物の期首残高	11,943	12,408
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,733	13,395

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	I Tサービス	ネットビジネス			
売上高					
外部顧客への売上高	4,331	4,574	8,906	—	8,906
セグメント間の内部売上高 又は振替高	151	1	152	△152	—
計	4,482	4,575	9,058	△152	8,906
セグメント利益又は損失 (△)	△336	498	161	△0	161

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去及び全社費用です。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	I Tサービス	ネットビジネス			
売上高					
外部顧客への売上高	4,707	5,242	9,949	—	9,949
セグメント間の内部売上高 又は振替高	131	0	131	△131	—
計	4,838	5,242	10,081	△131	9,949
セグメント利益又は損失 (△)	△143	793	649	2	651

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額2百万円は、セグメント間取引消去及び全社費用です。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。